

LIDDELL 株式会社、「脱・インフルエンサーマーケティング」を宣言！

個人の自立・自律を支援するプラットフォームとして

「ソーシャルオーソリティー マーケティング」へ

～個人の台頭はリアルな働き方の多様化へ。進化発展する「人マーケティング」～

LIDDELL 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：福田晃一、以下リデル）は、世界的にインフルエンサーマーケティングが重要視されている今だからこそ、当社が取り組むべき、その先のマーケティングに進むことを決定致しました。SNS はもはやコミュニケーションとしてのインフラではなく、適切な価値観をも醸造できるインフラとして成長発展を遂げつつあります。それら背景や、積み重ねてきたナレッジを結集し、「インフルエンサーマーケティング」事業から「ソーシャルオーソリティー」のための、個人の自律を促し支援するプラットフォームづくりに専念していくことをお知らせ致します。



個人の進化発展と共に、「インフルエンサーマーケティング」から「ソーシャルオーソリティー マーケティング」へと舵を切る！

リデルのインフルエンサー事業とは、インターネット、ソーシャルメディアを活用し、個人が自立し自律するための支援となるプラットフォームの開発・運営や、新たな働き方の仕組みづくり「ワークスタイル リフォーム」を目標としてまいりました。この度、2018年3月をもち、インフルエンサー事業を進化させ、フリーランサー事業、当社では「ソーシャルオーソリティー事業」と銘打ち、より個人の自律を促し支援するプラットフォームづくりに専念することをお知らせ申し上げます。

さかのぼること 2000 年を目前にした日本では、NTT ドコモによる「iモード」の誕生が、従来の一方向によるコミュニケーションの在り方を変革しました。携帯端末から始まった双方向のコミュニケーションや各種サービスが続々と生まれ、そうしたネットトレンドや発信の場の進化発展に歩調をそろえるかたちで、この 20 年弱、「個人」も変化を体験してきました。「つながり」を求め「交流」が生まれ、さらには「共有」へ。「共有」がコミュニティ化へと進み、「共感」を得た「個人」は、目的意識を持って自立を果たそうとしています。インフルエンサーマーケティングとは、こうした「個人」の進化発展の最前線で発生している、SNS 上における価値観共有コミュニケーションを対象にしたマーケティングです。それと同時に、かねてより存在してきた“影響力を持つ一般人”と“それを支える賛同者たち”をコミュニティとして捉えた、当社で言うところの“人マーケティング”のひとつの在り様と言えます。マーケティングの歴史のなかでも、「自己実現の時代」と言われ、SNS がそれを後押しする時代にあって、もはや「貨幣」を消費の中心に据えた経済自体が疑問符を投げかけられていると言えます。

私たちは、自社の歩むべき道が、コト・モノ消費の時代を経て獲得しつつある、“価値観の共有から生まれる心の経済”を支援するマーケティング、すなわち「ソーシャルオーソリティーマーケティング」であることをここに発表致します。

「共感」から始まる、消費の先に始まるマーケティングへ。リデルは「価値観の SPA」へ、ソーシャルオーソリティーが変革するパラレルワークの時代を支援！

企業の本質が営利活動である必定から、商品やサービスを「消費」させることが経済の目的です。ここに昨今、SNS から誕生した新たな消費者である“プロシューマー”が経済のゴールすら変革する存在感を見せ始めています。消費者（コンシューマー）が宣伝者（プロモーター）でもあるという当社の造語“プロシューマー”は、消費するだけにとどまらず、商品・サービスの体験などから得た自らの「価値観」を共有することで、企業に成り代わり宣伝者の役割をも担っています。商品やサービスを単純に情報共有するのではなく、自らの「価値観を共有」していることが、消費をゴールではなくスタートとする画期的な視点なのです。その上、インフルエンサーとは、より多くの共感を得ることに長けた存在であり、彼ら彼女たちは今後ますます進化を遂げ、自らの目的意識を明確にすることを望んでいくはずで、自身の得意とすることで自立し、ひいては適切に社会に貢献していく自負に目覚めた存在は、フリーランサーとして今後ますます増えていくものと考え、当社ではそうした存在を、“社会的関係構築のハブとなる存在”として、「ソーシャルオーソリティー」と呼称します。

「ソーシャルオーソリティー」らが牽引するのは、彼らの価値観に対する共感の連鎖と、それによって生まれる他者を認め合う、相互理解というフィールドです。世界中で起きている価値観の相違を、認め合い、共感し合うことで生まれる新たな経済は、モノ・コト消費を越えた心の経済となるはずです。

リデルは改めてここに、「消費の先のマーケティング」を目指すことを宣言します。消費はゴールではなくプロセスでしかなく、それは共感を得るための手段です。私たちは、「共感」をゴールに据えたマーケティングに舵を切り、時代やインフラの進化発展や変化につれ、共感される価値観に重きを置きます。

「価値観をクリエイティブし、流通させ、プロモーションし共感をつくる」。いわば、**【価値観のSPA (Specialty store retailer of Private label Apparel)】**として事業領域を変革致します。伴い、インフルエンサーアドバンス=ソーシャルオーソリティーとしてさらにバージョンアップしていくことで、さらに多様な働き方が可能となっていきます。個人がオンデマンドにSNSやアプリなど簡易なツールを使って、依頼主とマッチングすることでビジネスが成立し、インターネット経由で仕事を請け負う働き方の時代。私たちは、「個人の自立・自律」を推し進め、副業、兼業、フリーランス、最終的にはパラレルワークが当たり前となる時代を目指して、「ソーシャルオーソリティー マーケティング」を展開してまいります。

[最良のインフルエンサーマッチングプラットフォーム SPIRIT(スピリット)]

SPIRIT(スピリット) : <https://spirit-japan.com/>

[国内最大の10代限定インフルエンサーマッチングプラットフォーム SPIRIT TEENS(スピリットティーンズ)]

SPIRIT TEENS(スピリットティーンズ) : <https://spirit-teens.com/>

[上質のインフルエンサーによるSNSマネジメントサービス PRST(プロスト)]

PRST[プロスト] : <https://prst-sns.com/>

福田 晃一代表取締役 CEO 書籍

「買う理由は雰囲気」が9割～最強のインフルエンサーマーケティング～

著者名：福田 晃一

出版社名：株式会社あさ出版

定価：1,400円+税

PRESS RELEASE



LIDDELL 株式会社
2018年3月26日

ISBN-10: 4866670002

ISBN-13: 978-4866670003

【Amazon 購入ページ】

<https://www.amazon.co.jp/dp/4866670002>

[インフルエンサーの感性や才能を応援し、その影響を称える。IAJ 2017]

IAJ 2017 特設サイト: <https://www.spirit-japan.com/influencer2017/>

[共感型フォトジェニック・アート展「VINYL MUSEUM (ビニールミュージアム)】

VINYL MUSEUM (ビニールミュージアム): <http://vinyl-museum.com/>

Instagram: https://www.instagram.com/vinyl_museum/

【企業情報】

会社名: リデル株式会社/LIDDELL Inc.

代表者: 代表取締役 CEO 福田晃一

本社: 東京都渋谷区神宮前 3-35-8 ハニービル青山 3F (受付) 4F

事業概要: (1)インフルエンサーを含むソーシャルオーソリティーマーケティング事業
(2)個人の自律支援プラットフォームの企画、開発、運営

コーポレート URL: <https://liddell.tokyo/>

【お問合せ】

リデル株式会社 担当: 関根

メール: info@liddell.tokyo

電話: 03-6432-9806